



JARL香川

令和6年2月15日発行
発行 J A R L 香川県支部
<https://www.jarl.com/kagawa/>

第60号

発行者 支部長 森國幹夫 JA5ARW
編集者 平賀正明 JA5TOP
誌間 哲 JA5UVT 渡邊真二 JA50AU
岡崎正和 JG5EQV 横山浩二 JJ5JTF
木野谷稔 JI5EDR 森國愛子 JF5UTH

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 香川県支部報



▲ハムフェスティバル in 香川 (2023.3.19)



▲左同



▲上同



▲香川県支部 ARDF 競技大会 (2023.11.12 木田郡三木町)

☆ハムフェスティバル in 香川のご案内☆

JARL香川県支部では『ハムフェスティバルin香川』を下記のとおり開催します。感染症予防のため会場内ではマスクの着用をお願いします。

記

日時 令和6年3月17日(日)

13時より16時まで(受付:11時~13時半)

会場 アイレックス(丸亀市綾歌総合文化会館)

丸亀市綾歌町栗熊西1680 ☎0877-86-6800

催物 ・メーカー展示・ジャンク市・クラブ紹介等のブース なお出展者はJR5KPV窪田まで事前連絡の事 ☎090-7578-6234

- ・JA5YRL(体験運用・FT8運用)
四国レジャーハムクラブ
- ・自作品展示(当日会場へご持参ください)

報告 行事及び会計報告・監査指導概況

講演 ・JA5SUD 森田 耕司 会長

JARLの今後について

・四国総合通信局

ワイヤレス人材育成のためのアマチュア無線の活用等に係る制度改正

★各種表彰

★子供さんお楽しみ抽選会(小学生以下対象)

★お楽しみ抽選会

★DX通信のもう一つの楽しみ方★
“海外単独運用”

海外単独運用をやってみよう！

J E 5 W J M 前田 宏之

海外単独運用の面白さと楽しさは3つに分類することができます。まず電波を出すまでの面白さと楽しさ。二つ目は現地でパイルアップを捌く面白さと楽しさ。三つ目は帰国してからの面白さと楽しさです。

電波を出すまでの面白さと楽しさ

海外単独運用を実施するようになったのは1995年(平成7年)からです。よく、『銭と暇があれば誰でも行けるよ』とお小言もいただきますが、『銭と暇は余りありませんが、やる気と勇気と粘り気があります』とお答えすることにしています。つまり、『気』が一番肝要であるのかなと思っています。また、仮に100万円のリグを購入したり、100万円のタワーを建設するなら、5回海外単独運用を実施します。自己研鑽・自己責任の実践の場とも考えての単独運用です。

ここではこれまでに運用したいいくつかのエンティティの中から、アフリカ圏に属するマヨットを紹介します。当たり前のことですが、事前準備は最も大切・重要です。現地で電波を出すための方策と対策を、考えられる限り実施しておく必要があります。順不同ですが、ほとんど同時進行で進めていった事柄を列挙します。まず目的地はマヨット。その時点で私が交信未経験の地だからでした。四国総合通信局長(当時)へ免許証・免許状の英文証明書発行の要請。過去現地から運用経験のあるJR4PMX岡崎さんへの情報提供のお願いの手紙。JTB高松支店稲田課長補佐(当時)との打ち合わせ。太田町ぶんご医院でコレラ予防接種。勤務関係での私事旅行届を提出して許可申請。1987年5月に締結されたフランスとの相互運用協定の確認。マヨットはフランスの海外県であり、日本の資格英文証明書を基にFH/JE5WJMで運用できるかどうかの確認の徹底。マヨットや周辺国のコモロイスラム共和国で運用した日本人の運用ドキュメントの熟読。AH4、IC706を含むスイッチング電源及び周辺機材の運用確認の徹底と持参物リスト作成と確認(現地通関時に必要となる場合がある)。マヨットから運用したDX局と交信した日本のアマチュア局が各種アマチュア無線専門誌に寄せたレポート及びどのバンドが何時ごろJAに対して開けているかの、過去10年間のデーターを基にしてグラフ化。CQ誌櫻田編集長に運用予定を伝達(運用前にCQ誌に予定を紹介していただきました)。クレジットカードの確認と金券つづりと若干の現金ド

ルとユーロ。まだあったかもしれませんが、一番大切なのは妻や子どもたちへの根回しと機嫌取り。…無事に帰ってこられない場合もありますので、「後は任せた、後は頼むぞ、大黒柱の母ちゃんを中心に、力を合わせて気ばってくれ！」です。

さて、往路は関西国際空港～シンガポール・チャンギ国際空港～モーリシャス～レユニオン～マヨットです。途中のモーリシャスでのトランジット時間は8時間。格安航空券主体での移動ですから、乗り継ぐ度の待ち時間も豊富。しかし、モーリシャスからレユニオンへ飛ぶ小型機が故障して修理に時間がかかったため、レユニオン発マヨット行きの飛行機への乗り換え時間がほとんどなくなり、妙齢のフランス系女性と私の二人は空港のバックヤード(?)を係員の後を追って全力疾走。ようやく搭乗することができたのでした。多少冷や冷やしましたが、面白い体験ができました。

マヨットには無事着きましたが、ロストバゲージ。空港事務所の係官に調べてもらおうと、無線関連機器を収納したスーツケースは未だレユニオンにあり、翌日の第一便で送ってくれることとなりました。「面白いな、楽しいな。いい経験になったよ」と思いながら、フェリー経由でHOTEL TRAVANIへと向かいました。

そのようなことから電波を出し始めるまでが多少遅くなりましたが、委細織り込み済み。問題はありません。IC706はクッション材で梱包してリュックに入れて肌身離さず背負ってきましたし、翌日手にした周辺機器も無事に揃って一安心です。

現地でパイルアップを捌く面白さと楽しさ

運用したのはHOTEL TRAVANIの角部屋162号室。このホテルを共同運営している一人のフォーケン・エマヌエルさんと打ち合わせした後セッティング完了。このホテルからはDJ2BW(1997年)やG3TXF(2000年)が運用しており、エマヌエルさんもよく理解してくれていました。部屋の前の椰子の木の3メートル高の枝にAH4をつり下げてLWとIC706に接続。スイッチング電源はFP22で230V用に切り替え、プラグはタイプCを選択しました。

次はTVIの調査のための試験電波発射です。各チャンネルで3.5MHz帯～28MHz帯の試験を実施。7MHz帯～28MHz帯のTVIは確認されず、3.5MHz帯のみで僅かに電波障害が確認できました。LWが多少短くて、同調が十分にはとれていないのだろうと推測しました。心配が残るチャンネルではユーロスポーツの番組を24時間流していましたので、このチャンネルをつけっぱなしにしてTVIの確認に利用しました。フランス語や英語でアナウンス・解説していましたので、音量を下げ聞き流していました。フランス

人は相撲好きな人が多いのかな。結構な頻度で相撲の様子を取り上げていましたが、一つひとつの取り組みを丁寧かつ適当(?)な解説をしていたようにも感じました。

TVI調査は15:52UTC(21:52JST)に終了。いよいよ全世界に“CQ CQ CQ DE FH/JE5WJM FH/JE5WJM K”とアナウンスすることとなりました。いよいよ空中線電力100Wでの運用の始まりです。

22:11JSTに21MHzでスタート。しかしコンディションは余りよくなく14MHz帯にQSY。パイルアップとなりました。電波を出し始めて3日目には7MHz帯でJI5TRJ筒井さんやJA4BQI内藤さんの軽快なモールスが飛び込んできました。

14MHz帯は厚みのあるEU各局のパイルアップ。18MHz帯ではJA各局を含むEUやNA各局のパイルアップ。この状況は正に海外単独運用の真骨頂です。『ここがワイの甲子園じゃ!』と胸躍らせアドレナリンを噴出させつつも冷静に運用を続けたものでした。

時間帯や周波数帯あるいはロケーションの違いにもよるのでしょうか、JA各局の信号はEUやNA各局の信号よりおしなべて頭一つ浮き出ていました。そんな中、奥ゆかしくもきれいでスマートなキー捌きで確実に交信されるJA局も多数存在していました。決して大出力の歪んだ電波ではなく、当局の運用を十分にワッチし、受信周波数移動の傾向も的確に把握。かなりの高速あるいはゆっくり目のスピードでワンコール。私も見習いたく思いながらオペレートしました。きれいでスマートな電波は、DX局の耳に心地よく届きます。

さて、オペレートスタイルもDX局によって様々です。単独運用の私は、重量軽減と故障リスクの軽減等から、一番軽量で信頼がおけるIC706、AH4、FP22、ベンチャー・パドル、レシーバー、各種プラグ、簡単な修理工具、LWやヒューズ等の周辺機器、交信記録用紙、小型置時計2個、ボールペン等の筆記用具、電池式蚊取り線香、ビスコ、甘露あめ、記録用の写真機等々を持参しました。もちろんIC706は私の背中で共に移動しましたが、スーツケースにパッキングした携行品で現地で代用できないものが故障等すれば仕方なし。観光のみとなってもOKと腹をくくってはいました。パスポート、カード、現金等はもちろん身に着けての移動です。

日本における普段の交信は、のんびりと左手でパドル操作をして右手で記録しています。しかし、DX運用時には右手でパドル操作し、同じ右手で記録します。左手は受信周波数を移動させるために使います。数十局から瞬時に重なって呼ばれると受信困難となります。そこでゆっくりと受信周波数を上下させることで密集を避けてコールしてくる局をキャッチ。右手で局名を記録して素早く交信成立局の局

名をコール。信号強度と交信感謝(大抵は5NN TU)も送信します。1時間に200局程度と交信する程のパイルアップとなれば、多少その状況を放置し、炭酸水や甘露あめで一息ついてから数分後に再開することもありました。のどを潤し頭を冷やし、落ち着いて正確に送受信するためです。

滞在中の18MHz帯のコンディションは特によく、全2977交信中1115交信をログインすることができました。



帰国してからの面白さと楽しさ

無事に帰国して家族に土産話をした後は、交信データの整理とコンピュータへの入力作業です。現像した写真や資料を確認しながらQSLカードの発注をします。

実は、帰国する前からJA各局からのサセはかなり届いており、「お疲れさん。ビール飲んで疲れを癒してください。」との文言と共にビール券二枚を同封された方もいました。ありがたくいただきました。また、まだ帰国してもいないのに電話がかかってきて、「〇〇で交信できているか確かめてくれますか。」と言われ、対応した妻も戸惑ったそうです。

海外からもサセは続々届きました。とても早かったのが9J2B0:Brian、A45XR:Chris、G3TXF:Nigel…。Nigelは同じDXスポット・同じホテル・同じ部屋から運用したことであり、QSLカードに記されたコメントがとってもとっても嬉しく思いました。海外からのサセには1~2ドルないしは1~2枚の国際返信切手券であるIRC(international reply coupon)が同封されていて、QSLカードには例外なく温かい言葉が記されていました。

さて、QSLカードは4種類作成。サセでいただいた方には当局のQSLカードとA4版の用紙に運用時の主な写真や簡単なデータ等をカラー印刷した1枚のリーフレットを同封しました。3バンドで3交信したけれど1バンド分だけはコンピュータや元データを確認しても記録にない局もありました。申し訳ありませんが、その1交信はNot in logと記入して返送しました。

勤務を終えて帰宅してからも土・日曜日にも、資料整理や報告書の作成、お礼の手紙等、事後作業はたくさんありました。

中でも一番大切なのがARRLへのドキュメンテーション提出です。FH/JE5WJMが間違いなくマヨットから電波を出し、それは合法であったとの証拠書類を提出しなければいけません。これが認められなければ、当局と交信して手にしたQSLカードはDXCCにクレジットされないのです。提出した証拠書類を紹介します。日本の免許証と免許状の英文証明書のコピー。関係国の入出国印のあるパスポートのコピー。航空機搭乗を証する全ての便のコピー。マヨット滞在のホテル宿泊を証する書類のコピー。DXCCに申請が予想される全ての種類のQSLカードの現物等です。

時を経て、ARRLのDXCCマネージャー(当時)であるBill Mooreから、“We have received your documentation in support of your FH/JE5WJM operation. Cards will be accepted for DXCC credit.”と記された文書が郵送されてきました。ミッションコンプリートです。

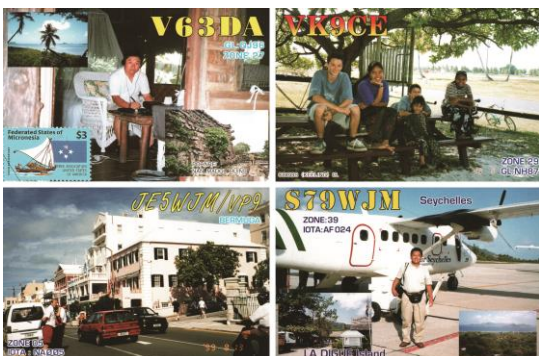


西日本DX's米子大会でお世話になり、山陰各局にマヨットの運用情報を事前に伝えてくださったJA4BQI内藤さんたちに、交信QSLカードとともにお礼状を出しました。JS6BSL/1遠藤さんやJA4DND松浦さんたちのサポートにも感謝です。

更に、CQ誌の櫻田編集長宛に、マヨット運用記の原稿を添えて運用報告をしました。私自身、海外のDXスポットから電波を出したJA局の運用記を読むのが興味深く好きだからです。

今、思い返しても、海外単独運用は面白くて楽しくて、胸がわくわく心が躍ります。

DX通信の楽しみ方は人それぞれではありますが、友情を深め、国際交流に寄与できる可能性を秘めた本当に素晴らしい趣味だと思っています。



★ 新年のご挨拶 ★

一般社団法人日本アマチュア無線連盟

会長 森田 耕司 JA5SUD



令和6年の年頭にあたり、JARL会員の皆様にご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年は

ようやく新型コロナウイルス感染症による行動制限から解放され徐々にもとの生活に戻ってまいりました。ハムフェアの開催をはじめ様々なアマチュア無線のイベントも再開され、盛況のうちに開催できるようになって参りました。年末には、2019年以来となるアイボールミーティングが多くの方を迎え盛況のうちに開催することができました。

さて、昨年6月に会長に就任し、JARLにとって真の意味での「新時代の到来」となるようなクリーンな事業運営に努めるべく「積極的な活動と情報発信」「組織運営の透明化」を2本の柱として新しい執行部を運営して参りました。

昨年はアマチュア無線の制度改正が実施され、アマチュア無線や電波の楽しさ等を知る・学ぶ機会やその活用機会が拡大されました。

将来のアマチュア無線を牽引する若い世代の育成を目指し、「体験運用推進・ニューカマー支援委員会」を立ち上げました。また、各地で多くの体験運用を行い、皆様には協力をいただきました。

本年も引き続きこの制度改正による機会を生かし、体験運用の推進、青少年のアマチュア無線を通じての科学技術への興味を深めるきっかけとなる活動によりアマチュア無線を始めるための活動を行いたいと思います。

皆さまも新たな仲間になるハムのたまごに体験運用を指導し、体験運用中のハムのたまごと交信を行う機会があるかと思っています。その際には、初めてで緊張していた頃の初心を思い返していただきながら、皆様が続けているアマチュア無線がいかに楽しいものであるかを伝えていただき近い将来仲間として一緒に歩めるように優しく接し、ご指導いただきたいと思っています。

今年はJARD・JAIAをはじめアマチュア無線関連団体ならびにCQ出版社とさらなる協力体制を築きアマチュア無線の拡充に向けて取組を行って参る予定です。

皆さま方におかれましては各地で新たな仲間を迎えるべくJARLの行事ならびに体験運用などへのご協力をお願い申し上げます。

令和6年も倍旧のお引き立てのほどよろしくお願い致します。

★香川防災アマチュア無線クラブ★

J J 5 P S B 田口 大作

JR5YGX香川防災アマチュア無線クラブ(KBAR)は2020年2月に香川県防災士会高松南ブロックで有志によるアマチュア無線愛好会として立ち上げました。災害発生時の通信手段を確保確立することを目的として各自で無線局を開局し、自宅及び被災地・避難場所を想定した山間部や高台などへ出向いての交信訓練を行っていました。そして2023年2月にJR5YGX香川防災アマチュア無線クラブとしてクラブ局を開局しました。

設立当初は防災士数名であったものが一般のアマチュア無線家も参加して、更には日本赤十字社香川県支部(アマチュア無線・レスキューサポートバイク)奉仕団、香川大学学生防災無線局とも連携してイベントを行うなどの広がりを見せており、毎週の交信訓練には毎回10数名が参加しています。

本来、災害時には防災士であるなしに拘わらず、広く無線のネットワークを構築するには他のアマチュア無線局の協力は不可欠であり、この傾向は進んでいくものと考えています。

香川防災アマチュア無線クラブのメンバーにはこのような活動の有意性を理解してもらうため、クラブで開催するイベントへの参加、アマチュア無線従事者資格取得講習、無線機・アンテナ等の選定の手伝いなどを行なっています。また、定期交信の節目(50回毎)にイベント(県内各地に移動してのロールコールなど)を行なうほか、JARL主催のイベント(ハムフェア、ARDF競技大会)への参加を行なっています。

今後は、前出した一般クラブや大学・高専といった学校の無線クラブとの連携も増やしていき、環瀬戸内海防災無線連合の形を作るといった理想をもっています。

我々のクラブが災害時にどれほど役に立っているのか、実績はありませんが万が一のために活動を続けていきたいと思っています。



★直島アマチュア無線クラブ★

J A 5 Q Y Res J A 4 O E Y 佐々木 広武

当クラブ(JR5YEJ)は、このたびJARL登録クラブ(36-1-18)にお認め頂きました。新参クラブですが、皆様よろしくお願いたします。

直島町は香川郡(JCG36003)の1郡1町ですが、人口が3000人余りと少なく、アマチュア無線局も現在は5局程度となっています。当クラブも直島出身者が普段は島外に居住しているメンバーを加えて、どうにか維持しています。かつては、島内の大企業、三菱マテリアルのハムクラブ局JA5YPOが活発に活動していましたが、現在は時代の流れで廃局となっています。

そんな中でも当クラブでは、日赤直島支部と共同で地元の直島小学校に出前講座に伺い、直島町教育文化祭ではアンテナを建てさせて頂き、公開運用も行いました。離島では不意な停電が未だ多く、災害発生時にはアマチュア無線は重要な代替通信手段となります。このことを出来るだけ多くの島民に理解して頂き、多くの理解と仲間を得ることで、この趣味の公共への貢献と持続を図りたいと思います。

さて、直島町は2024年4月1日に町制70周年を迎えます。この記念局を開設すべく直島町と相談を開始しました。詳しいことが決まった時点で広報させていただきます。ゲストオペも募集する予定ですので、どうぞお楽しみに。

また、直島というと「現代アートの聖地」で国際的に有名です。今日も多くの海外からのお客様がおいでになっています。なんと、先日、フランスのハムが拙宅のアンテナを偶然見つけられ、来訪されました。本当にアマチュア無線は趣味の王様だと思えます。

2025年は次の瀬戸内国際芸術祭の開催と併せて、さらに新たな現代美術館が開館する予定で、建設工事も佳境に入っています。こちらもぜひ観光においで下さい。



★2023香川マラソンコンテスト結果発表★

2023年12月1日～12月15日

順位	コールサイン	氏名(社団名)	得点	日数
《社団局マルチバンド・マルチモードの部》				
①	JA5ZNO	讃岐うそどりハムクラブ	131,452	15
2	JH5YVC	高松リープハムクラブ	19,964	15
3	JA5YDE	JARL香川クラブ	13,536	15
4	JH5YRW	ニュースカイクラブ 讃岐	2,208	15
5	JR5YGX	香川防災アマチュア無線クラブ	340	8
《個人局マルチバンド電信の部》				
①	JG5JXW	坂井進史	4,731	14
《個人局マルチバンド・マルチモードの部》				
①	JJ5IGZ	澤 隆之	22,113	15
②	JA5OAU	渡 真真	14,532	15
3	JH5LYW	比 邊好幸	11,656	15
4	JG5WWD	三 嘉久雄	8,460	15
5	JA5ARW	森 國幹	7,906	15
6	JA5CBU	立 花真一	7,254	15
7	JI5XTP	坂 内信洋	4,747	5
8	JA5KF	吉 井嘉壽	4,218	14
9	JA5AHM	天 野英弘	2,964	15
10	JF5SIM	長 尾宗胤	2,668	10
11	JJ5PSM	小 河亮平	1,568	15
12	JJ5ASD	上 村佳司	609	14
13	JJ5KUG	大 平佑馬	180	5
14	JA5JGV	大 塚 隆	160	7
《ニューカマーの部》				
①	JJ5QZX	中 村 浩史	2,035	13
②	JJ5QLY/5	川久保 貴史	380	6
《1.9MHz電話の部》				
①	JA5CAU	平 井 一	1,320	15
《3.5MHz電信の部》				
①	JA5CBO	鈴木伸男	252	7
《3.5MHz電話の部》				
①	JA5COC	村 岡 政照	1,200	15
《7MHz電話の部》				
①	JA5TFJ	横 田 壽夫	1,078	8
《14MHz電話の部》				
①	JA5FKE	荒 井 泰孝	4	1
《21MHz電信の部》				
①	JE5XIC	丸 岡 俊晴	221	10
《21MHz電話の部》				
①	JE5HTN	加 藤 秀和	1,075	15
2	JA5ETQ	馬 場 宗俊	49	3
《28MHz電話の部》				
①	JR5XQD	多 川 敬蔵	484	15
《144MHz電話の部》				
①	JJ5QGK	松 林 洋史	2,432	15
2	JR5DPV	宮 西 正樹	2,016	15
3	JJ5PWX	長 尾 朋憲	1,218	15
4	JG5EQV	岡 崎 正和	483	11
5	JI5USJ/5	小 柳 徹三	35	1
6	JI5SAI	平 田 昌三	4	1
《430MHz電話の部》				
①	JA5OGX	上 枝 秀数	3,520	15
②	JR5PPN	鈴木重香	2,368	15
3	JI5SAO	丸 山 誠	2,356	15
4	JG5SPA	杉 山 壽洋	1,984	15
5	JA5EJC	森 清志	1,056	13
6	JH5OJW	堀 義明	864	15
7	JJ5HOA/5	向 井 利昭	783	15
8	JG5ETN	植 松 照雄	713	15
9	JI5BFP	上 村 邦夫	360	12
10	JA5UVT	詫 間 哲一	98	3
11	JH5DAH/5	中 野 誠一	6	1
12	JH5HTX	大 矢 根 将一	2	1
《1.2GHz電話の部》				
①	JA5BDZ	山 下 進弘	1,798	15
2	JG5WUN/5	久 保 正弘	1,000	15

順位	コールサイン	氏名(社団名)	得点	日数
《2.4GHz電話の部》				
①	JI5EDR/5	木野谷 稔	300	6
《5.6GHz電話の部》				
①	JH5WER/5	後 藤 哲史	255	5
《10GHz電話の部》				
①	JI5LKC/5	木野谷 春美	35	4
《ATVの部》				
①	JA5DCM	芥 忠雄	2	1

・ログ提出局数55局(1アマ26 2アマ11 3アマ17
4アマ0 その他1) ・8日以上に参加局数39局
・参加総局数231局 ・○印は表彰対象局

★オールJA5コンテスト県内局の活躍★

2023.7.15～16

《マルチバンド電信の部》	《マルチバンド電信電話の部》
③ JA5QYR 97,704	① JA5CBU 61,372
4 JF5SIM 91,524	《1.9MHz電信電話の部》
5 JE5HTN 70,052	① JA5CAU 720
8 JA5IVG 9,301	《1.4MHz電信電話の部》
《1.9MHz電信の部》	② JR5DPV 8
① JA5CBO 500	《2.1MHz電信電話の部》
《3.5MHz電信の部》	④ JJ5QZX 1
① JR5XPG 3,196	《2.8MHz電信電話の部》
《7MHz電信の部》	① JA5COC 143
① JI5USJ/5 12,361	《5.0MHz電信電話の部》
3 JH5OJH/5 6,724	④ JA5OGX/5 20
4 JE5XIC 5,412	《1.44MHz電信電話の部》
《1.4MHz電信の部》	③ JI5SAI 36
① JG5JXW 7,084	《4.30MHz電信電話の部》
《2.1MHz電信の部》	④ JI5SAO 45
④ JA5EXN 126	《社団局電信電話の部》
《2.8MHz電信の部》	① JA5YDE 14,040
② JG5TZJ 1,776	
《社団局電信の部》	
① JH5YVC 39,627	

◎：四国1位 ○：香川県1位

★四国地方ARDF競技大会の県内選手の活躍★

昨年10月15日四国地方ARDF競技大会が高原の町高知県西部の自然豊かな梶原町で開催され神奈川・宮崎ほかからの参加に吉田町長の歓迎のご挨拶を頂きました。

2023四国地方ARDF競技大会県内選手の活躍

144MHz帯 2023.10.15 高知県梶原町
クラス、順位、コールサイン、時間、探索個数(ビーコン含む)
M21 2 JG5OBX 1:54:05 3 | M75 2 JA5UVT 1:39:33 3
* JG5WTP 2:34:49 3 *ビーコンなし



★2023香川県支部ARDF競技大会★

昨年11月12日香川県支部ARDF競技大会を三木町総合運動公園近辺で開催。小雨の中、福井・岐阜・愛知と奈良からは学生に多数参加頂きました。

距離と山裏で初心者にはちょっと厳しい大会でしたが盛況に終了しました。

2023 香川県支部ARDF競技大会
144MHz帯 2023.11.12 香川県三木町 三木町総合運動公園

順位、コールサイン又は氏名、時間、探査個数(ビーコン含む)、県名	順位、コールサイン又は氏名、時間、探査個数(ビーコン含む)、県名
《W15クラス》	《M40クラス》
1 中川 涼夏 1:40:36 3 奈良	1 JF2TIR 1:37:31 2 岐阜
《W21クラス》	2 JF3KRL 1:44:51 2 奈良
* JQ2HYB 2:50:07 4 香川	* JR5PVC 1:50:57 1 徳島
《W35クラス》	《M60クラス》
* JP2PGZ 1:39:46 1 岐阜	1 JH4ELJ 1:30:28 4 広島
《W45クラス》	2 JR9ECD 1:34:02 3 福井
1 JJ5DEW 1:36:47 2 香川	3 JJ5PSM 1:56:40 3 香川
《M15クラス》	* JJ5BIJ 2:16:32 1 高知
* 高井 航 1:18:46 1 奈良	《M70クラス》
* 松原 紀和 1:38:26 1 奈良	1 JA5FUC 1:38:52 3 徳島
* 上田 翔太 1:50:32 1 奈良	* JA5CPO 2:19:05 3 高知
《M19クラス》	* JA2UXQ 1:01:37 1 愛知
1 牧 桜太郎 1:43:08 3 奈良	《M75クラス》
* 中田 逸心 1:32:55 1 奈良	1 JA5UVT 1:52:10 4 香川
* 廣瀬 一磨 1:51:47 1 奈良	2 JH5FUL 1:55:29 3 徳島
《M21クラス》	3 JA5ICY 1:40:30 2 愛媛
1 JJ4KME 1:20:09 3 広島	* JJ4BFO 2:23:57 3 広島

*印は失格(時間超過、無探査)

★ 監査指導委員長日誌 ★

監査指導委員長 JI5EDR 木野谷 稔
令和5年は香川と徳島で10月に、四国総通の規正局とJARLアマチュアガイダンス局の連携運用が実施されました。

香川におけるアマチュアガイダンスの送出を11回実施。その内訳は呼出符号未送出8件、周波数の使用区別(FM)2件、周波数の使用区別(宇宙通信)1件でした。呼出符号未送出については、アマチュアガイダンス送出後8件中、6件がコールサインを送信頂きアマチュア無線局で有る事が確認出来ました。その他の5件については、アマチュア無線局の免許を受けていない無線局と思われました。アマチュア無線局においては、愛称やサフィックスのみの送出など、コールサインを省略しての通信は違法です。周囲のアマチュア局からも不法局と誤解されますので、少なくとも10分に1回はコールサインを送出しましょう。

周波数の使用区別を守りましょう。アマチュアバンドは、電信、電話、データなど各種の方式で運用する局が共用しています。このため、各方式間の混信を防止し、電波を有効に利用するため、「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」が定められています。必ず守りましょう。

周波数の独占は認められません。アマチュア無線には、特定のグループ専用の周波数は存在しません。通信の都度空いている周波数を使用することがアマチュア無線のルールです。

他人の通信の故意妨害はやめましょう。特定のアマチュア局が運用している最中に、無変調を送信するなど、他人の通信に故意に妨害を与える事

例が多発しています。絶対にやめましょう。

最後に、昨年HF帯の移動用に50W機を注文した所、欠品との事でもう半年も待っています。100W機ならすぐ有るとの事ですが、移動局の最大空中線電力は50Wです。免許された内容で運用しましょう。アマチュア無線はルールを守って正しく使いましょう。

★ 8 N 5 C L E A N 運用 ★

受信環境クリーン中央協議会では毎年10月を「受信環境クリーン月間」と定めています。その活動の一環として昨年7月から10月末まで四国4県持ち回りで特別局の運用を行い、県下でも9月の一ヶ月間運用をしました。又、令和6年度も運用を計画しておりますので、ご希望の個人局・クラブ局は、ご一報頂ますよう宜しくお願い致します。

交信数(2023.9.1~9.24)

1エリア	273	7エリア	56
2エリア	110	8エリア	43
3エリア	117	9エリア	15
4エリア	71	0エリア	60
5エリア	76	D X	75
6エリア	59	合計	955



★ 行 事 及 び 会 計 ★

令和5年度活動報告

- 05.07.09 支部・クラブ代表者会
- 05.09. 受信環境クリーン月間 特別局運用
- 05.11.12 香川県支部ARDF競技大会
- 05.12.01 香川マラソンコンテスト (15日迄)
- 05.12.10 支部役員会
- 06.01.07 コンテスト委員会
- 06.02.11 支部役員会
- 06.02.15 支部報「JARL香川」60号発行
- 06.03.17 ハムフェスティバル in 香川

令和6年度活動計画

- 06.05.11 「モールズで遊ば(初級)CW勉強会(5回開催)
 - 06.07.07 支部・クラブ代表者会
 - 06.08.* ARDF審判員講習会
 - 06.09.* 防災訓練への参加
 - 06.09.08 製作技術講習会
 - 06.09. 受信環境クリーン月間 特別局運用
 - 06.11.10 香川県支部ARDF競技大会
 - 06.12.01 香川マラソンコンテスト (15日迄)
 - 06.12.08 支部役員会
 - 07.01.12 コンテスト委員会
 - 07.02.09 支部役員会
 - 07.02.15 支部報「JARL香川」61号発行
 - 07.03.23 ハムフェスティバル in 香川
- *開催予定日等は決まり次第HPにUPします。

会 計 報 告

令和4年度収支状況(円)

令和6年度予算(円)

前年繰越高		356,994	前年繰越高		180,000
収 入	地方本部費	132,800	収 入	地方本部費	264,100
	雑収入	10,000		雑収入	10,000
	受取利息	4		—	0
	合計	142,804		合計	274,100
支 出	会議費	13,772	支 出	会議費	20,000
	催物費	64,201		催物費	150,000
	通信費	0		通信費	2,000
	交通費	0		交通費	2,000
	消耗品費	1,845		消耗品費	2,100
	事務印刷費	86,198		事務印刷費	100,000
	コンテスト費	24,633		コンテスト費	50,000
	賞典費	0		賞典費	2,000
	非常通信費	0		非常通信費	0
	雑費	0		雑費	0
	合計	190,649		合計	328,100
次年繰越高	309,149	次年繰越高	126,000		

* 令和5年度の会計は執行中で次年に報告します。

★再免許申請は6ヵ月前からに★

再免許の申請期間が他の無線局と同様に「6ヵ月前から1ヵ月前まで」と始期が変更になりました。

★周波数等に一括表示記号★

無線局免許状*は右段上図のように一括表示記号になりましたが、実際には、工事設計書に記載した無線設備が発射可能な周波数等以外は使用できません。また工事設計書の記載等はこれまでどおり必要であり、無線設備を取替、増設、撤去、変更等する場合は申請又は届出が必要です。

*電波の形式、周波数及び空中線電力の表示例
3アマ移動局:3AM 3アマ固定局:3AF

移動範囲	陸上、海上及び上空
無線設備の設置場所/寄置場所	香川県高松市
電波の形式、周波数及び空中線電力	3AM
備考	
<small>法律に別段の定めがある場合を除くほか、この無線局の無線設備を使用し、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを留用してはならない。</small> 令和 5 年 12 月 12 日	
四国総合通信局長	

編集後記

2023年の香川マラソンコンテストのマルチバンド・マルチモードの部にクラブ局で参加。昨年夢に見た、全バンド1.9MHz~10GHzの13バンド。地域マルチは市町で17箇所の全制覇を達成する事が出来ました。各バンドで交信した異なる市町の数は13バンド×17地域=221となり、これに日数マルチの15日を加えると236となり高得点で1位の栄冠が見えます。

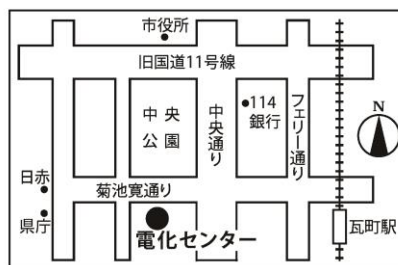
今回15日間の車による移動距離は1452kmにおよび、会社のズル休みも2日ひそかに頂きました。又、1年に1度の香川マラソンコンテストで今回は多数の機器故障が発生しました。IC-905XG(144受信不可)、IC-7100M(終段故障)、DJ-G7(終段故障)、AH-730(風で滑落)、自作HF-ANT 長さ7m(風でこっぴゃみじん)、忘年会6回で自身の体調不良(飲み過ぎ)。以上の様に楽しく大変な15日間でしたが、目標が達成できた事に大いに喜ぶと共に、各局様のお声かけに感謝申し上げます。新たな次回の目標として、今年はARDFの世界に足を踏み入れようと企んでおります。

EDR

アマチュア無線 営業無線 電子パーツ 家庭電化製品
パーソナルコンピューター オーディオ製品 何でもそろろう

(株)電化センター

〒760-0018 高松市天神前4-35(中央公園南)
TEL 087-862-6077 FAX 087-833-4995



みんなの自覚で きれいな電波



四国受信環境クリーン協議会 香川県連絡会

事務局 高松市錦町1丁目12-7
NHK高松放送局内